

番組審議会議事録

日時 令和5年7月21日（金）13：30～

場所 萩テレビ（株）会議室

出席者 審議委員5名 会社側2名

議題

[1] 会社側の報告等

・近況報告

7月初旬に災害発生が心配されるレベルの大雨に見舞われたことに触れ、改めて今後の防災情報の発信について考えさせられた。

・今回の審議番組について説明

審議番組：「浜崎伝建おたから博物館～歩いて萩の宝島」

5/21（日）9：20～11：30 放送

会場にいるレポーターとスタジオを繋いで、イベントの様子をお伝える生放送番組。長く続く地域では恒例のイベント「浜崎伝建おたから博物館」の様子をリアルに伝えることでイベントへの誘導、FM ナナコを知ってもらうきっかけになればと実施した。

（スタジオ：久保田桂子／レポーター：梶野晴彦、蔵本江理）

[2] 番組内容の審議

次のような意見があった。

- ・ 出店やイベント内容、駐車場等のことなど詳しく紹介していて、今から行こうと思っている人にとってはいいきっかけになると思った。
- ・ いつも聞いているリスナーにとっても、今回の生中継特番は新しい刺激があるのではないか。
- ・ 肝心の伝建地区に眠っているお宝の説明があまりなかったのが気になった。
- ・ 蚤の市の説明は良かった。
- ・ 昨年の中継よりは進化している。
- ・ これからの放送も説明やレポーターの自己紹介もきちんと入っていた。放送についていきやすかった。
- ・ 実行委員会の方のこのイベントへの思いや伝建地区の説明もあってよかった。
- ・ 臨場感及びLive感が伝わってきた。
- ・ 会場のざわざわした感じとか、お客さんの声をもっとあってもよかった。
- ・ スタンプラリーの開催、出店情報が盛りだくさんでよかった。
- ・ 萩市観光協会の方の説明が入り、主催者とは違った味付けでよかった。
- ・ 演奏会の中継で歌手のアンコール曲の紹介はしなくてよかったのではないか。

- ・ イベントに参加している人がどのように楽しんでいるかを伝えてほしかった。
- ・ 2人のLiveの感じがよかった。
- ・ リポーターとスタジオのパーソナリティのかけあいが面白かった。
- ・ 蚤の市の中継は少し通り一遍だった。
- ・ 2人の中継、スタジオのパーソナリティとの掛け合いがうまく、飽きることなく聴くことができた。
- ・ 番組冒頭にこれから浜崎に向かう人向けに、交通案内・会場本部の様子などの紹介が要領よく話されていた。
- ・ インタビューでは、開催関係者や店の人の思いをうまく引き出していた。
- ・ 店舗訪問では、「旧まつや生花店」と「かこ176」については、トーンを落とした語りで、自分が中に入っているような気になった。
- ・ ラジオ片手に見学している人もいて嬉しく感じた。
- ・ レポーターのくらもちちゃんのマイクが時折不明瞭になり、残念であった。

<会社側からの回答>

- ・ 概ね良好な意見でよかった。
- ・ 「歩いて萩の宝島」というイベントのサブタイトル通り、次回は本来のお宝の中継もしっかり行いたい。事前準備や打ち合わせもしっかり行いたい。

[3] 次回開催について

次回は、令和5年9月22日（金）13：30～開催、審議番組は、萩市観光協会・平野まゆみさんと国際交流委員・ハナ・ギーチさんの番組「萩のインバウンド」に決まった。